

広聴特別委員会記録

令和6年9月25日

【開催日】 令和6年9月25日(水)

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時10分～午後3時28分

【出席委員】

委員長	森山 喜久	副委員長	前田 浩司
委員	奥 良秀	委員	白井健一郎
委員	中島 好人	委員	藤岡 修美
委員	宮本 政志		

【事務局出席者】

事務局長	石田 隆	事務局参事	河口 修司
議事係長	岡田 靖仁		

【審査内容】

- 1 6月定例会のモニター意見交換会について
- 2 6月定例会議会カフェについて(報告書・アンケートの見直し)
- 3 9月定例会のモニター意見交換会、議会カフェの開催について
- 4 その他

午後1時10分 開会

森山喜久委員長 ただいまから広聴特別委員会を開会いたします。それでは付議事項の1番、6月定例会のモニター意見交換会について、1ページをめくっていただいて、令和6年7月16日、17日、18日開催の意見交換会で聴取した意見の割り振り案を示させていただきます。モニターから意見を頂いた分で一応担当委員会を割り振りさせていただきますが、こちらでよろしいでしょうか。

宮本政志委員 割り振り先はいいと思う。

森山喜久委員長 事前に皆さん方に見ていただいたもので文言を若干修正しま

した。これで割り振りをしたいと思います。よろしいでしょうか。

白井健一郎委員 中ほどで、「一般質問は70分間にしているが、疲れるだけで誰も聞いていないのではないか」ということですが、これは70分が長過ぎるという意見だと思うんです。これに対しては既に対応がなされているので、あえて回さなくてもいいと思うんですけれども。

森山喜久委員長 こちらについては、6月のモニター意見交換会の際に出された意見ということで、一旦は議会運営委員会に申し送りをして、どうするかは議会運営委員会のほうに委ねたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、改めて意見の割り振りについてはこちらのほうでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、付議事項1番を終えます。では2番、6月定例会の議会カフェについてということで、次のページ、議会カフェ報告書①からそれぞれ確認していきたいと思いますが、議会カフェ報告書①について、内容はよろしいですか。

白井健一郎委員 「意見」はどういう取扱いをするんですか。例えば、全部あります。例えば、総務文教常任委員会関係の「輻射式」であれば、最後から3番目と最後の二つが「意見」ですよね。最後の「要望」は委員会に届けばいいと思うんですが、「意見」というのはどういう扱いにするんですか。

森山喜久委員長 「意見」を含めて各常任委員会に回すということで、前回の委員会で言われたとおりにしていくということになりますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

中島好人委員 この文面云々じゃないんですけども、これはサンパークの会場ですよね。ここでの音響の関係で何か意見はなかったですか。かなり響いていたことは申し送りとか、意見としてはなかったですかね。そうい

う記載がないみたいだけど。

森山喜久委員長 それについては、アンケートには記載されたものです。ここでは、議会カフェで報告した内容についての議論とその他の議論という形で頂いたものをまとめさせていただいておりますので、その施設整備の関係とかに関してはあえて入れさせてもらってないということになります。よろしいですか。（「分かりました」と呼ぶ者あり）では、報告書①のほうでよろしいでしょうか。

宮本政志委員 先ほどの白井委員の3常任委員会への意見も含めて、「意見」はどうされるのですか。「その他」はどうするのか。「要望」が一つと「意見」が二つあるが、どうするんですかね。例えば、「要望」で「高千帆地区の」云々、最後は「議員さんに見に来てもらいたい」とか。あるいは意見としてこうです。だからそれに対してはどういう対応かな。

森山喜久委員長 この報告書自体は、それぞれの常任委員会にお配りしますし、また、「その他」についても、またがる場所もありますので、そちらの常任委員会で見せて併せて確認してもらおうという形で、前回確認していると思っております。それぞれ常任委員会に漏れなく、「その他」は渡すと。総務文教常任委員会にも民生福祉常任委員会にも産業建設常任委員会にも、こういう意見がありましたってということで全ての「その他」の意見は渡していくということで。

宮本政志委員 例えば、その他の「議員さんに見に来てもらいたい」という「要望」と「意見」の二つの全部を3常任委員会に渡すわけでしょ。（「はい」と呼ぶ者あり）3常任委員会が「要望」の中で「スクールゾーンの」云々、それから「避難所として」と、二つの意見を言われて、だから「議員さんに見に来てもらいたい」という物を渡すんですよね。で、あとは3常任委員会に「見に来てもらいたい」とおっしゃるけども、見に行かないと、見に行くということはこれも委員会に任せるってこと。

森山喜久委員長　そういう形になります。こちらの議会カフェの報告書は全議員にお配りしますが、それとは別に各常任委員会にも改めて、こういう意見があったということは通知をさせてもらおうと。そういう形になります。報告書①でほかには御意見はありますか。

奥良秀委員　「その他」のところの3番目なんですけど、意見にもなるし、感想にもなるし、どう捉えていいのか分からないの也有ります。「外国人」の方のこういったことってというのは、民生福祉常任委員会になるんで、この取り計らいは、難しいかなあというのがあるんですが、いかがでしょう。

森山喜久委員長　こちらの意見については、仕組み、制度がきちんとした形で整えられているかどうかという疑問があると。そちらについて、どういうものがあるのか。生活がしやすい体制になってるのかも、また議論を深める中で言えば出てくるかもしれませんので、実際、委員長の立場でいらっしゃるといふことからその辺を確認するという形になるのかなと思ってます。

宮本政志委員　この「意見」を3常任委員会に振るんでしょ。3常任委員会の委員が見るわけよね。それぞれの議員がこういった意見があったんだなっていうことを頭に入れて、例えば、一般質問なり、委員会の議案審査に関係すると、それは各議員がこういう意見を受け止めた結果、どういふふうなことを取るかは議員に任せるよね。ただ、この「要望」の上は、「スクールゾーンの道路幅が狭い」から「小野田診療所から道をつくれればいいのではないかと思っている」。つまり、「私はつくったらいいんじゃないかと思ってるんですけど、どうですか」っていうことを問いかけているのよね。二つ目は、「避難所として」こうだ。だから「心配は尽きない」。渋滞とかで、心配が尽きないからぜひ「議員さんに見にきてもらいたい」っていうふうな。「見てください」って言いよってんよね。見た上で、「小野田診療所から道をつくれればいいんじゃないかと私

は思ってるんですけど、どうですか」につながっているんやったら、これはどうなのかな。民生福祉常任委員会と産業建設常任委員会になるのかな。避難所は民生福祉常任委員会。それから、産業建設常任委員会が道路で、それこそ民生福祉常任委員会と産業建設常任委員会にそれぞれ同じようにやって、それぞれの所管のところだけは、「ここはこういう意見の報告が来ておりますけど、委員会としてはどうでしょうか」ってかけてあげないと、カフェに来て言った意見とかっていうのが、結果は別にして、議論もされなかったら市民の方も言うのに精がないと思う。これは民生福祉常任委員会と産業建設常任委員会の両方の常任委員会に振ったほうがいいと思う。

森山喜久委員長 では、民生福祉常任委員会と産業建設常任委員会のそれぞれの「その他」のところにそれを。今は全体の「その他」で一くくりしてありますが、民生福祉の「その他」で記載する、産業建設の「その他」に記載するという形で両方にまたがるように記載をしたほうがいいということですか。（「はい」と呼ぶ者あり）そのような形で修正したいと思います。そのほか報告書①はよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、報告書①を終えて、報告書②に行きたいと思います。報告書②で、また御意見があればお願いいたします。

宮本政志委員 これは総務文教常任委員会の「その他」ですか。まず下のきらら交流館ですが、これは最後に「新庁舎の議論を始めてよいのではないか」っていうのが出ているから、これは新庁舎のことだから総務文教常任委員会ですよね。「今から市役所の20年先」でこの本庁舎は耐震終わったばかりやけど、「新庁舎の議論も始めてよいのではないか」ってことをこの方は言われた。これは総務文教常任委員会で新庁舎のことをどうするかっていうのを決めていくっていう形ですか。

森山喜久委員長 それは、総務文教常任委員会の「その他」になります。「その他」の最初の意見で、「体育館も低い位置であります」は、市民体育館

のことなので「市民」を入れるという補足をさせていただきたいと思
います。皆さんにお聞きしますが、全体の「その他」にある「要望」で「市
内の排水ポンプは、満潮時と大雨が重なったとき、あふれることが多い。
解決してほしい。」という部分で、こちらの所管としては、産業建設常
任委員会の主立ったものになるのか、3 常任委員会にしたほうがいいの
か——こちらの市内排水ポンプ関係は産業建設常任委員会のその他に入
れたほうがよろしいですかね。そういう形で修正をさせてもらえたらと
思います。

宮本政志委員 その下の要望は「地域運営組織で取り組んでほしい」なので、
子育てのサポートっていくと民生福祉常任委員会かもしれないが、「こ
れから地域運営組織で取り組んでほしい」は、RMOなので総務文教常
任委員会になるのかな。その下は、「限られた財源の中でまちづくりに
ついて政策提言をしてほしい」ですよね。この「政策提言をしてほしい」
って、要はまちづくりについてやろ。まちづくりは基本的には産業建設
常任委員会かな。これも全体的にかかるよね。おまけに「政策提言して
ほしい」なので別に3 常任委員会のそれぞれが政策提言できないわけじ
ゃないし、でも特別委員会もあるよねっていう話なので。この委員会で
ここは少し議論したほうがいいね。

森山喜久委員長 特別委員会があるにはありますね。特別委員会も含めて先ほ
ど言ったように全議員に示すというのがあります。ただ、こちらの「限
られた財源の中でまちづくりについての政策提言をしてほしい」という
のは、個別に抜き出して政策提案特別委員会のほうに改めて通知する
という形でよろしいですか。その上の先ほど宮本委員からあったように、
「子育てのサポートなどこれから地域運営組織取り組んでほしい」は総
務文教常任委員会の「その他」で上げていきたいと思います。よろしい
ですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、報告書③に移りたいと思
います。赤崎地域交流センターの議会カフェ報告書ですが、皆さんから御意見あ
りますか。

宮本政志委員 「その他」の「意見」にある「はしごを掛けて溝掃除を行っている。土手にも草が生えてる。汚泥で流れないこともあり、衛生的でない。」は、どこの管轄になるのか。確認してみてもどうか。

森山喜久委員長 では、確認のために、ここで暫時休憩します。

午後 1 時 3 7 分 開会

午後 1 時 4 4 分 開会

森山喜久委員長 それでは再開いたします。先ほどの件につきまして、事務局と一緒に確認をしましたが、窓口は、土木課となりますので、こちらについては産業建設常任委員会の「その他」に上げさせていただきたいと思えます。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それ以外はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、報告書③につきましては以上とさせていただいて、報告書④にいきたいと思えます。不二輸送機ホールでの議会カフェ報告書ですが、こちらの内容のほうはよろしいでしょうか。「その他」で「厚狭川の川沿い」の件と「大正川、桜川」の件は産業建設常任委員会ですかね。「要望」の最初は産業建設常任委員会です。次のところも産業建設常任委員会ですかね。「文化会館」のところは総務文教常任委員会です。 「山陽オート」は産業建設常任委員会です。最後はこちらの広聴特別委員会に対してのものでしょう。それでは全体の「その他」になりますが、3行目の「要望」「厚狭の川沿いを散歩していても環境がよくない。植樹をしたら良いと思う」というのは産業建設常任委員会の「その他」に回したいと思えますがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次の「意見」、「大正川、桜川」の関係も産業建設常任委員会にと思えますがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）その次の「文化会館は建物に特徴がなく」のところは総務文教常任委員会のほうでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次の「山陽オートの広い駐車場」の関係は産業建設常任委員会ということによろ

しいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)それぞれの「その他」に組み込んでいきたいと思います。ほかはよろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)こちらの修正全般については、委員長一任でお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)では、議会カフェ報告書についてはよろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)では、次にアンケートと集計に行きたいと思います。今、議会カフェのアンケートを出させてもらってますが、議会カフェのアンケートも含めて若干見直しをしたほうがいいのではないかという話もありますが、内容として皆様方のほうはどうでしょうか。この間も修正をさせていただいてきておりますが。

宮本政志委員 自分の反省も含めてですが、これまでの議会カフェのアンケートの集計結果をもとに、その次からの議会報告会に具体的に、このアンケートの結果でここをこういうふうにしましょう、ここをこういうふうに改善しましょう、追加しましょうとつながったことが記憶にない。ということは、今のアンケートの内容は、果たしてこれでいいのかっていうところがある。最後に市民の方にアンケートを書いてもらうのにばたばたしている。あんまり時間がとれないという前提だからこの程度でいいよ。でも、しっかり時間をとってもっと生かしていくんやったら、例えば、1問目の「今回の議会カフェは満足いただけましたか」という問いに、「やや満足です」って答えた人に1、2、3、4、5って番号を振って、2番のお答えの方はどのようなところで、やや満足ですかっていう少し本当は詳細を聞いたら、それぞれ「やや満足」っていうところの「やや」は何ですかって見えてくるよね。だから本当ならこういう項目を選んだ理由を書いてもらったほうが、「だから、不満だったんだ」とかっていう改善点が見えてくるので、そういうアンケートを試みるのも一つかとは実は思ってます。その代わり市民の皆さんは、最後まで真剣に書いてくれているけど、項目を絞らないとばたばたして書いておられるので、内容と時間、その辺少し議論して変えたほうがいいのかと思います。

森山喜久委員長 今のアンケートを深掘りしていったって、理由も書いていただくような形にしてはという御意見がありました。皆さんはどうでしょうか。

藤岡修美委員 今の宮本委員の意見は納得できるんですけど、自由記述欄で、議会カフェの内容についてはある程度、皆さんの意見が出てくるんで、この辺で、読み取れんこともないのかという気はしていますが。

宮本政志委員 そうなんです。自由記述のまとめもある。毎回しているよね。目を通して見ると、その方が一番気になったところを書いておられるよね。つまり、議会カフェのアンケートの問1に関して自由記述欄で書いて、例えば、問2の④に関して書いてあるというのは少なく、一番気になったところだけを書いてるのが9割以上でほとんど。だから、自由記述欄は当然要るんだけど、その自由記述欄で結構、我々は救われているっていうか、主にそれを重視しているよね。だったら議会カフェの内容についてももう少し詳しく書いてもらえれば、もっと議会カフェに対して見えてくるなって思うんですよ。

森山喜久委員長 今、頂いた意見について皆さん方から何か御意見ありますか。なければ、理由欄をQ1、Q2を含めて、それぞれのところに入れていくということに対してどうでしょうか。

中島好人委員 深掘りすれば、例えば、満足って言えばどんな点が満足か、不満と言ったらどんな点が不満か、踏み込んではいける。それで改善される内容も出てくるとは思うんだけど、何か文書で案みたいなのがないと、なかなか作成まで行かないと思う。作成した案があると、どうやったらいいかという感じになるけど、今は漠然としている。深掘るとそういうのが生まれるのは確かにあるから、今回は改善していくことの提案として。いきなりここで、変えたほうがって、誰が案をつくってどうするのかってなってしまいうんですけども。取りあえずは、今回はこ

れでいって、今後は変えていく方向でみんなの知恵を出し合うというか。そうしたほうがいいのかとは思ったりもするけどもね。

宮本政志委員 中島委員の言われることとは違って、それぐらいのことはこの委員会ですぐできるでしょうって話です。次回以降に延ばさなくても。例えば、以前は、「車で来られましたか、バスで来られましたか」っていうところも削除していったよね。これで言ったら、「男性」、「女性」、「年代」、これは特に「年代」っていうのは若い方が少ない、何歳代が多いという参考になるから必要なんで。「住所」っていうのも市内か市外かだけで、細かいこれ要るかなっていうのもある。これは削除しましょう。それから、「議会カフェは満足いただけましたか」も削除してもいいと思う。つまり、その下の問いを聞けば、この方はすごい満足しておられる、この方は全然満足しておられないっていうことが分かるために、簡単な話で、「①議会カフェの報告動画配信の内容について」。左から①②③④ってあるやろ。選択肢に丸をつけるだけ。その下の四つの選択肢から選んでその理由を下に書いとけば、「議会カフェの報告動画配信内容」に不満って書いた人は、四番に丸をした人は不満に対して「こうだから」って。全然難しくない。最後に、今度はQ2になるけど「今回の議会カフェに関して、御意見、御要望などがございましたら、御記入ください。」あと裏はダーッと書いていいようにやっているわけなので、裏ってあんまり見ない。実を言ったら、だからその程度だから。「そういう内容で行きましょう」とするのか、「いやいやもうこれまでのこれでいいのでは」とするのか。変えましょうって言うのなら、今言った案に皆さんの意見を出して、最終的に「こういうふうな形で行こうじゃないか」って。今日何でそれを決められないのか。決めたら、それを基に委員長が一旦、最終的な案を次の委員会に出しましょう。それぐらいのことは決められるやろ。。

森山喜久委員長 今の具体的に改正案を含めて宮本委員が示されました。

中島好人委員 自分も案を考えよったけど、考えが及ばなかった。案が出てるなら、それでこういうのはかなり漠然として、あまり意味がないっていうか、もう少し深掘りしたほうが意味がある。だから、案が出てるのはそれでいいんだ。

森山喜久委員長 今の宮本委員の意見について、中島委員に確認ですけど、今の宮本委員の改善案がいいということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

藤岡修美委員 私も宮本委員の案に賛成です。

奥良秀委員 今、ここで言えばQ2の1番、2番、3番、4番のところについて理由を書くということで、内容がよりよく分かりやすくなると思うので、そのように進めていただきたいと思います。

白井健一郎委員 14ページの議会カフェのアンケートを工夫するっていうのはいいと思います。ただ、せっかく前回の議会カフェについて円グラフが出てます。15ページから最後の自由記述欄まで。これを今日振り返るってことも結構大切だと思うんです。次の11月の議会報告会に向けて、過去の反省をそのまま生かせるから。11月も迫ってますから、この反省を終えた後に変えたほうがいいなっていうところでまた振り返って、アンケートをどうするかをもう一度考えてみるとか、そういうのもいいと思います。

前田浩司副委員長 前回のアンケートの集計の結果を見て、例えば、Q1の「議会カフェに満足いただけましたか。」と、あとQ2の中の特に③時間配分については、「不満」や「やや不満」という件数が多いので、まずその二点に絞って記述をさせて、そこで回答が出てくるようでしたら、またおいおいほかの項目も追加して、最初から負担を与えるっていうことよりも、一番気になるところをまず調査していったらいいかなと思って

おります。

宮本政志委員 今の一番気になるところはこちら側の主観論になるけども、一番気になる理由が、議会報告会のこれまでのアンケート結果、その根拠をもとに一番気になるところは言わないといけない。それと委員長、例えば、私が意見を言ったことに対して、この間も今回もそうなんやけど、一人ひとりが手挙げて、どうです、こうですって、これ一人ひとり、いつもそうだよ。自由討議の場ではないので、一人一人が手を挙げて、みんなが手を挙げていく運営はこれ非常におかしいと思う。だから私が言った、それに対してどうなんですか、意見が出んやったらこういう形でいいですかという委員会運営をしてほしい。今二つのこと言ったけど、一つは副委員長どうということ。今のよく分からないんだけど。

前田浩司副委員長 意見交換会の内容について、もしくは、動画の配信については特に不満っていうような解釈で私はしておりません。やはりこの時間配分については、やはり件数がかなり多いという部分と、やはり議会カフェの全体の満足度というところで、まず1回調査をしたらいいのではないかということで申し上げました。

宮本政志委員 「1回やったらいいんじゃないんですか」っていうこと。それで絞ったほうがいいってことですか。

前田浩司副委員長 宮本委員がおっしゃるとおりです。

森山喜久委員長 このままでやるんじゃないなくて、改善していったほうがいいということでもいいんですか。

前田浩司副委員長 あんまり最初から全部「不満」っていうところに記述させるよりも、まず「議会カフェに満足していただきましたか。」「はい」、「いいえ」ではなくて、「不満です」っていう方について御意見を頂き

たいと。あと、傾向としては、時間配分について新たな意見を持っておられる方がいらっしゃるのではないかとこの2点の調査をしたらいんじゃないかっていう意味合いです。

中島好人委員 不満の人も満足した人も自分がしゃべりたい、言いたいていうところのコーナーというのは必要だと思うんです。だから、不満っていう人の意見はもちろん今後改善していくのに大事なんだけど、「よかった」っていう人も一言でも書きたいっていうのもあると思うんです。だから、自分たちが参考にするだけじゃなくて、来た人が「満足」というのは、自分が言いたいことが言えたとか、自分が思っていることが書けたとか、「満足」とか「いい」とかという人は、排除するんじゃなくて、そういう人の意見も組み入れることは大事じゃないかと思ったんですけども。

宮本政志委員 一人一人に意見を言わせるからこのようになる。先ほどから私が言ったことに対して藤岡委員も中島委員も白井委員も奥委員も一緒だったよね。最後に、副委員長だけ違うこと言ったよね。それで副委員長の意見を取り上げて、よく意味が分かんなかったから、平等の観点からどういうことか解釈したいから聞きようだけで、原則、5人が同じことを言うんなら。だから一人一人に聞きよったらおかしいなるよって思う。内容は、今、このままじゃなくて、私はこの住所はもう省いていいんじゃないんかって、まず一点言ったよね。それから二点目は、今が、副委員長を除いた私含めた4人の委員の方は、Q2に関してはそれぞれに番号をつけて、理由をお願いしますって。今のことでQ3がQ2になるよね。それはこのままでっていうことで、皆さんが同じなんだから、「それでよろしいですか」でしょう、委員会の運営は。「それでよろしいですよ」ってなったんなら、それを今度は案を自分がつくって「次の委員会で、皆さんに御提示しますので」っていうので済んでいたじゃないか。

森山喜久委員長 では、今、言われましたように、住所に関して要らないとい

う意見を言われたのは一人だけだったので、住所のほうはどうでしょうか、要るか要らないか。特に、地域性的な分布を確認するだけなので、入れなければいけないというものではないんですけれど、そこを鑑みれば住所も削除した中で、Q 1 も削除でQ 2をQ 1にしなごら、①から④について、チェックされたところについての理由は記載をしてもらおうという形で変更をしていきたいと思ひますが、皆さんよろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり)では、そのような形でアンケートは修正をさせていただきたいと思ひます。あとアンケート集計結果の関係で、皆さんのほうで何か気づきとかはありますか。

白井健一郎委員 これは大切なデータとして扱ったほうがいいと思ひんです。

もろに前回の議会カフェがどうだったかって判断されているわけだから、一つ一つこの円グラフを見て判断するとか。気になるのは全体的に「やや満足」っていうのが多いかなって。ちょっと不満があるっていうことですよね。でも、全体として見れば、やや満足っていうのが何となく多いかなっていうところの分析とか、あと自由記述欄を見ても、これ一つ一つ見る価値があるぐらいの大切な意見だと思ひのですが、どうでしょうか。

中島好人委員 人間の心理として、やや満足っていうのは普通なんです。人間の心理として普通は満足していても、このやや満足にするんです。上、下としたら中を取るとかね。だから、やや満足が多いのを分析しないとけないということは思ひないです。だから、ここは大変満足や満足もあわせて満足という意識でいいんじゃないかなとは思ひますけどね。

白井健一郎委員 ただ、今の御意見に対して反論すると、アンケートでなぜ細かく書いてもらうのかってさっきから話してますよね。そこなんです。やや不満足ならどこが不満だったのかとか、どこが「やや」なのかっていうところを自由記述でしてもらおうということなんですよね。

中島好人委員 それはおかしいというのが今はないから、それはそれでいいですよ。

森山喜久委員長 状況がなぜ満足なのか、やや不満なのかというところを今後のアンケートのところで反映してもらおうというところになりますので、そちらについては、また今後深掘りするという形でもよろしいですか。「はい」と呼ぶ者あり)自由記述欄も含めて、事前に皆様にもお示しはさせていただいている中で、どうしてもこれを取り上げておきたい、みんなに周知しておいたほうがいいのではないかとというのがあれば、確認の意味も込めて、おっしゃっていただきたいと思います。

奥良秀委員 自由記述欄の一番上の「カフェの開催について」っていうことで、たまたま今回「音響の問題があったよ」ってことが出てるんですが、これを取り入れてってことで、新しいところを新規でやられる際は、事前に、調査をしたほうが、よろしいのではないかと思うんですがいかがでしょうか。

森山喜久委員長 今回は現地にも行かせてもらったんですけど、その部分で実際、どのような状況になるかを含めて確認をしてなかった。ただ、行かせていただいて、ここでやるんだっていうことでしかなかったので、言われたように音響の確認とか、必要機材がそろっているか含めて事前には確認したいと思います。

白井健一郎委員 今、議会カフェの開催についてというところをやっていますけれども、人が増えたほうが、やっぱり人がたくさんいたほうが、話がいもあるとか、やりがいもあるというのは我々もそうだし、参加者もそうだっていうのが一つ確認できると思うんです。そういう意味で仕方ないけれども、議員は今までどおり何人か集めてくるというのはやむを得ないかなと思いますし、それ以外のところでもできる限りへ広げていくっていうことが必要だと思います。

森山喜久委員長 今、議会カフェの開催について意見を頂きましたが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）議会カフェの内容について皆さんのほうでこれはどうだろうっていうのがありましたらお願いします。よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）議会カフェの内容についてはないということで。議会カフェの進め方についてはどうでしょうか。

宮本政志委員 最後の「時間が短い。回答があいまい」ってあって、「時間」に関してはクレーム的なものが割と多いよね。これは確かに市民の方も来られて、いろんなことを言いたかったのに言えなかったっていうことが前提にあるわけよね。「時間が短い」ということと「回答があいまい」の二つよね。一つの「時間が短い」っていうのは、これは、テーブルの進行よ。そこのさばき方がよくないと、だんだんだんだん時間が短くなるっていうところが一つ。それと「回答があいまい」っていうのは、恐らく、これはそのテーブルで、議員の答えが曖昧やから。つまり、間違っただけを平気で言っているから。「今、よく分からない」と議員がはぐらかすから。だから、今度はその場でも反省をさせたほうがいいかもしれない。例えば、後片づけが終わって、打合せをする、反省会をするときに、全体反省会もいいけど、各テーブルで集まってやるか、何かしらしたほうがいいと思う。ある議員で名前は出さないけれど、私のテーブルで市民の方から質問を受けて、「いや、それは今答えられんのやけど」とか、「そのことについては、なかなか言いにくくて無理なんやけど」。何をこの議員は言っているんだろうかっていうのは、そういうことがこの曖昧につながる可能性もあるわけ。だからやっぱり、その都度その都度、反省したほうがいいかもしれない。特に進行役に対して、テーブルの人から注意点をもらってもいいし、進行役からそのテーブルについて言ってもらってもいい。委員長か副委員長がフリーでいる場合は、しっかりテーブルを5分か10分か見ながら、そこでメモしてチェックしていく。あるいは3常任委員長も忙しいときはいいけど、呼ばれないときには前に座っているので、話ができる。3常任委員長も、時間があるときには、歩いてもらいながらその雰囲気聞いてもらってメモする

とか。これは何度言っても無理だね。「進行がこうですよ」って言ったり、「回答はうそを言ってはいけませんよ」って何度も言っている。だから、その辺も今度は反省会をして、議員同士で注意し合おう。それを提案したい。

白井健一郎委員 反省会をするかどうかはともかく、司会進行役、ファシリテーターが、どういうふうに進めるのかっていうことについて、事前に打合せをしっかりとすべきだと思う。どういうことかという、例えば市民から質問を受けるんだけどその質問が何を聞きたいのかをピンポイントで抑えるように、突っ込んで、「それはどこがどう聞きたいんですか。」、「何が疑問なんですか。」、「質問は二つあるんですか」とか。そこまで突っ込んで明確にする。そしてそれに答えられなかったら、委員長に預けるといふ。パターンをしっかりとつくることを徹底することが、大切なんじゃないかと思うんですよね。そこがいまいまだ徹底されていない。だから、終わった後の報告書を見て、我々が「ああでもない、こうでもない」って、苦勞するんです。だから、そのファシリテーターの技量というかそれを例えば宮本委員とかが皆さんに言ってもらおうとか、そういう機会をつくったほうがいいと思います。

宮本政志委員 今、白井委員が言われることは、非常に分かる。これは、マニュアルをつくってもなかなかマニュアルどおりに行かないのがこういう生の市民の方々との意見交換の場なので、臨機応変さです。各テーブルでの進行役を誰がやるかは今頃はほぼ決まってるよね。今言われたようなことを全部しないといけない。それをテーブルに座っている議員がそれを見て、「こういうふうに進行するんだな」っていうのを見て会得してほしいところもあるわけで。白井委員が言われたことを別にお世辞ではないけど進行するときに、白井委員はそういう点を注意してやってたよね。それはほかの議員がやるのを見て、「進行はこうで」と。だから、そういうところをマニュアル化するのは難しいと思う。だから、進行役に対して、例えば白井委員が言われるようなことをテーブルの議員が「進

行はこうだったよ。駄目だったよ。ここはこうしたほうがよかったよ」
っていうのもいいし、進行役あるいはほかの議員も答弁した議員に対し
て、「ここはこうしないと、もっと勉強してこないと。こうしてすぐ調
べないと」っていうことを注意し合って、つまり反省をその場でやった
ほうが、いいんじゃないかっていうこと。

白井健一郎委員 実は、私が進行で気をつけたことってというのは、今、私が先
ほど話したこととはちょっと違って、はずむ話をしたいとか、市民と
議員との交流の場として、「その話は実はこういう似た話もありました
よね」とか、「たしか最近一般質問でこういう質問した人がいるんです
よ」とか、ちょっと話の間口を広げて、こういう言葉が適切か分かりま
せんけど、面白く話を進める。でも、そうではなくて、質問の市民から
の質問の趣旨を的確に抜き出して、それに対して一問一答形式のように
答えると。答える力がないんだったら、常任委員長を呼ぶというふうな
形をはっきりさせたほうがいいんじゃないですか。だから、「私は分か
らないけど、多分似たような話になるんですけどね」というような答え
じゃなくて、一問一答式でとにかく聞き取ると。それを議会の答えとす
るというように徹底したほうがいいとは思っています。

宮本政志委員 つまり、今、緊張感をほぐすためにというのはいいこと。それ
と議会報告会なので、一個人の議員が確かに「一般質問がどうか」とか、
「自分はこう考えてます」というのは適切ではないと。だから、そうい
うところ。あるいは回答として、「自分はこう思うんだ」と言う議員が
時々いる。一議員の考え方を回答として述べる場ではないから。確かに
そういうところの反省点も踏まえて、たくさんのマニュアルを入れるこ
とは難しいけど、最低限のところってというのは、注意で「こういうふう
にしてください」ってところには、まだ入ってなかったよね。始める前
に、「人の意見を批判しない」という注意点はあったけど、白井委員が
言われるところは、たしか入ってなかったよね。議会活動なんで議員個
人の感想や意見を述べてはいけないとか、そういうのはなかったよね。

森山喜久委員長　ですから、注意事項でやってることは、「和やかな雰囲気をつくること」、「全員が発言できるよう気配りをする事」、「参加者の発言を途中で遮らないこと」、「参加者の意見は、まずは受け止めること」、「否定をしないこと」、「持論を展開しないこと」、「周りで他の発言をする行為は行わないこと」、「議員が延々と発言しないこと」、「常任委員長が待機していますので答弁に迷った際は相談してください」というのを注意事項として記載をしていると。

白井健一郎委員　市民が何を聞きたいのかっていうのははっきりさせるときに、追及的になったらもちろん駄目ですよ。それは物すごい心理的圧迫を受けますし、誰も話さなくなる。やっぱり和やかに和やかにっていうのはあるんだけど、その焦点をしっかりと定めるってことは難しいことだと思う。経験とか、試されることは多いと思うんですけど。先ほどから言ってるように焦点をしっかりと絞って、それに対して一問一答形式でなるべく正確な答えを出す。出せなかったら例えば、市のホームページを見たりとか、そして最終的には常任委員長を頼りにするという形で正確に答える。もし万が一分からなければ、いろいろその対応について同席の議員と相談したりとか、最終的には持ち帰ることは仕方ないです。その辺のマニュアルみたいなものは、そのファシリテーターの人たちに徹底することはいいんじゃないかと思ってます。

藤岡修美委員　今、白井委員の言われることよく分かるんで、先ほどのマニュアルの中で、議員が延々と発言しないことのところの若干文書を変えて、的確に答えるといったような表現にして入れたらいいんじゃないかと思えます。

宮本政志委員　今の白井委員の意見で言ったら、例えば、参加者(市民)で「参加者の方が何を言いたいのか、何を望んでいるのかをできるだけ詳細に聞いていくこと」というの注意事項として入れるべき。それが、白井委員が言われるように、威圧的で「ああいう言い方をしたらちょっと市

民の方もこうでしたよ」とかっていうのは後の議員同士での反省会で指摘すればいい。それで藤岡委員が言われたのは、必要ないと思っている。これは改選後からもずっとこういうことを言ってるの。言ってるけど、分からんのか、理解できんのか、理解してるけど言うことを聞きたくないと思っているのか、本当に理解できんのか、何度も言うのに長く自分の持論をだらだら言う議員もおる。あるいは進行が一生懸命にほかの議員と市民の人と話をしてるのに、同じテーブルで議員が知り合いかどうか知らんけど市民とペラペラペラペラと違う話をしだす。当然、進行役としては「すみません、こうこうこうですから、この方が、お話しされておりますんで」と注意はするけど、つまり、書いてあっても理解してないのか、理解しているけどわざと守らんのか、多いよ。だから、結局は書いても守られていない。指摘をしてやらないと分からない。あとで指摘する場は必要と思う。モニターの意見交換会でも、進行役の人は深く詳しく聞いていないのか、今までこれではよく意味が分からないのがいっぱいあった。詳しく進行役が聞いていくっていう文言を入れていきましょう。

森山喜久委員長 頂いたように、注意事項のほうに「参加者が言いたいことを詳細に、伝えたいことを詳細に聞き取ること」というのを入れて、マニュアルを訂正していきたいと思います。また、カフェが終了した後に、テーブルごとに反省点を言い合う場を10分、15分程度で、気づきとか、そういった形で、次に向けての改善すべきところを各テーブルでお互い確認する場をつくっていただけたらと思います。

中島好人委員 白井委員が言ったことは、大事なことで、記載してあると、「ここに書いてあったよ」ということが終わった後の指摘として言えるわけです。自分がこう思うって言うのではなくて「こう書いてあったよ」と。「そうかね」となるわけですから、その記載をすることは大事な点じゃないかなと思う。

森山喜久委員長 では、今言いましたマニュアルのほうに記載していくということと、また当日の事後の反省の時間を設けたいと思います。進め方を見直していただけたらと考えております。カフェの進め方はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）最後になりますが、要望、その他は何かありますか。こちらのほうは書かれたものそのままだったので、よろしいですか。

宮本政志委員 これは振り分けなくていいのか。テーブルで言ったことは振り分けるのに、アンケートに書いてくれたことで、例えば、「スポーツ(スケートボード等)ができる市にしてほしい。施設が欲しい」とか、「災害」がその下とかにあるんだけど、これら全部って言うんじゃないか。テーブルで言ったのは文書化して、振っているのに、アンケートで書いてくれた市民の方の意見は、「これでよろしいですか」と聞き置くのはどうかと思います。

森山喜久委員長 では、それぞれの振り分けをさせていただきたいと思いますが、三つ目の「市民体育館は冷暖房が導入されることで」については、これは総務文教常任委員会ということで——これは、感想ですので振り分けはしなくていいですね。

白井健一郎委員 「感想」っていうのをつくったらいいかもしれませんね。「意見」じゃなくて「感想」。これは軽く読むだけでスルーしていいっていう。

森山喜久委員長 これらについては、各議員に渡して見てもらう形を取るか、委員会のほうで振り分けるかという形になりますが。

宮本政志委員 例えば、上から六つ目の「勉強不足で参加させていただきました」から始まって、「高齢者、障害者に寄り添う心を持っていただけるような教育をみんなで考えなければならないでしょう」というのは、

総務文教常任委員会なんですかね。それから「動画がとても見やすかったです」っていうところも、「企業誘致、ふるさと納税に関しては」は、バリアフリー化、これと結びつけて、一般質問に取り上げてくださっているのは、これは、委員会に持っていかれないね。それと「スポーツ施設など、すぐとは言わんけど市民プールの施設をよくしてほしい」。これは要望で、市民プールの担当所管は文化スポーツ推進課なので、総務文教常任委員会かな。総務文教常任委員会をお願いします。「古式行事の補助金のアップをお願いします」は市民の方からの要望よね。これは、古式行事も総務文教常任委員会じゃないかと思います。なので、今のところこれくらいじゃないかな。それを各委員会に渡して、検討してくださいという意見がありましたよってことでいいんじゃないですか。

森山喜久委員長 今、指摘されたのは基本的に総務文教常任委員会ですね。総務文教常任委員会に振るという形で仕分けをさせていただきます。それを踏まえて修正を委員長に一任でしていただきたいのですがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）アンケートの関係もよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、付議事項2を終えたいと思います。付議事項3の9月定例会のモニター意見交換会と議会カフェの開催についてになりますが、モニター意見交換会については、今、モニターと日程調整をしておる最中でございますので、一番多い日を一回ということで文書を出させてもらってます。また調整が、決まり次第に示させていただきたいと思います。議会カフェの開催日程は別紙にあります。11月7日、午後2時から不二輸送機ホール、午後7時からAスクエアで開催していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、議会カフェについては11月7日の2回の開催という形にさせていただきたいと思います。で、これに付随して皆さんのほうから御意見のほうはありますか。

宮本政志委員 委員長、それはいけないじゃろう。本来なら、議会カフェの開催は4か所。例えば、2日間で1日に2か所とか。要は、まだ本当は多

かったわけよね。今回は、2か所で、それが縮小されたわけよね。縮小しただけでは、議会カフェ、議会報告会の委員会活動の低下になる。だから、例えばこれと付随して、意見を広く市民から聞くという前提がうちの委員会だから、どこかの団体や何か行き先を定めていって、意見を聞きに行くっていうこともこれと一緒に議会カフェを2か所にしたということと同時に、やりますよっていうことを決めていかないけんと思うんやけどね。

森山喜久委員長　そうです。前回、2か所にする。それに合わせて各団体のほうに声を聞いていこうという話で、2か所にしていったと思うので、団体の声を聞くというところで、また広報をどのようにしていくかということをお皆さんからも御意見を頂きたいと思います。広聴特別委員会で決めていいのか、それとも、一定程度、各常任委員会のほうにこういうテーマがあるからっていう話で決めて、選定していくほうがいいのか、その辺を踏まえて意見を頂けたらと思いますが、どうでしょうか。

白井健一郎委員　例えば、議会だよりに掲載して募集するのも一つの案だと思います。

森山喜久委員長　今度の議会だよりって11月1日ですかね。

白井健一郎委員　それは特に急ぐ必要性はありますか。私は別に1月を過ぎてからでも別にその日程はいくらでも融通が利くと思って発言してるんですけども。一つの案として。

森山喜久委員長　一つの手段としては議会だよりに掲載するというところがあるということですね。

藤岡修美委員　僕は山口東京理科大学の学生にすごく興味があるんですが、理科大は、何か駐車場などいろいろなことで難しいらしいので、会場を変

えて、学生を交えてカフェみたいな形でやれたらいいんじゃないかなと思います。

森山喜久委員長　まずは理科大の学生とやってみたらどうかというふうな御意見ということですね。理科大の学生との交流という形の意見がありました。

奥良秀委員　藤岡委員にお聞きしたいんだけど、理科大の学生に対して、何を聞きたいのかっていうのをいろいろと決めていかないといけないんですがいかがでしょうか。

藤岡修美委員　まず、学生が他市、他県から来ているから、自分が住んでいたところと山陽小野田市を比較するというか。それから若い目を見たときに、山陽小野田市に何が足りないかなど、いろいろあると思うんでその辺りをこれからの山陽小野田のまちづくりに向けて、ひょっとしたら新しい考えが聞けるかなっていう気しております。

奥良秀委員　今、言われたことは私も聞いてみたいっていうのはありますので、案の一つとして進められてもいいと思います。ただ、今から市民の方に近づいていこうというときに、何かしら要綱というか、何人以上の方を呼んでもらうといったように、いろいろ決め事しておかないと、会としてなかなか進みにくいかなっていうのがあるので、その辺もまた詰めていっていただきたいなと思います。

白井健一郎委員　これは「議会カフェ」じゃないですよ。名前は。例えば、私は市民懇談会に近いイメージでしゃべってたんですけど。それは、どういう根拠でっていうか、何なんですか、これは。申し訳ないんですけど。既存のどういう制度に当てはまるんですか。全く新しいものですか。

森山喜久委員長　状況としては全く新しいものという形で、前回、皆さんから

も言われたという認識しています。ただ、団体の方々を含めて、話を聞いていく形はどうかというところがあったと思います。ただ、奥委員も言われたように、そういった一定のルールは、どうなのかという話も出てくるので、そちらも詰めていかなきゃいけない案件というふうには認識しています。

前田浩司副委員長 前回、「会場の回数を」っていう発案をさせていただいて、基本形はやはり議会カフェという要素を取り入れた形で、一般の市民の方の御意見を聞く。さらには先ほど藤岡委員がおっしゃられたように、まちづくりに対して、逆に向こうからの要望事項も聞く場所であり、広聴機能として出向いていくというスタンスで考えております。

宮本政志委員 この議論を聞いていたら、時間軸がない。委員長は少し気をつけないと。私は最初に、今回のこの議会カフェを11月7日の2か所に縮小したんですよねと。また2か所のままだけで議会報告会が終わったら、広聴特別委員会としての活動の縮小になりますよねって最初言ったでしょ。だからこれとセットで、どこかに意見を聞きに行くということをするべきだというふうに言いましたよね。それと違って白井委員は、来年とかその時間軸で言ったら今回はもうこの2か所の議会カフェのみで、それで出かけて市民の意見を聞くことは、このセットでなくていいと。まだ後でいいということ言われたわけでしょ。そこをまず整理しないと。つまりこの11月7日の議会カフェとセットにするべきですよって言うんだから。そこでしょ。時間軸をはっきりしないことには。そして、それが決まって、議会カフェの11月7日とセットで前後の近いところで、要は市民の意見を聞きに行くことをしましょうとなるのか、いやこれはこれで、今回の議会カフェでの報告会は2回でいいんだと。これは委員会の活動縮小よ。そうなるけど、どうするのかを決めていかないと。それから、どういうふうなところに声をかけていくんですかっていう方法に入っていないと。今、時間軸は2パターンあってめちゃくちゃになるよ。

森山喜久委員長　ここで暫時休憩して、55分から再開ということでしたいと思います。

午後2時42分　開会

午後2時55分　開会

森山喜久委員長　休憩を解いて再開いたします。早速ですけど、先ほど話もありましたが、このたび議会カフェは2か所ということで、団体の声を聞いていくというこの部分で、私はこれをセットと認識しておったんですけど、皆さん方の認識が様々だったので再度確認を取りたいと思います。こちらについては、このたびの議会カフェは不二輸送機ホールとAスクエアの2か所ですけど、それとは別に各団体に聞いていくという案件をセットで進めていきたいと思います。各団体のほうに赴いて、意見交換をしていくという形をセットでしていきたいと思いますがよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、そういう形で、団体に赴くこともセットでさせていただきたいと思います。なお、先ほどありましたが、議会報告会の報告事項を入れた中で、意見交換をするかどうかになります。そちらの報告についてはいかがいたしましょうか。

宮本政志委員　意見交換というか、議会カフェと内容はまったく同じ。9月定例会はこういうふうな形で、当然ユーチューブを見てもらってもいいし、あるいはその議会の報告をまずやる。それから、その報告に対して意見をお聞きして、あとはもうフリー。だから全く議会カフェと同じ。そういう流れで私はいいと思います。

森山喜久委員長　今、意見がありました。基本は赴くときも議会カフェと同じような流れで進めたらどうかという意見がありました。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）同じような流れで行かせていただきたいと思います。それでは、次に対象団体について。

宮本政志委員 冒頭、委員長からあったもので、私もそれありかなと思いましたが。例えば、3 常任委員会にそれぞれテーマを決めていただいて何か推薦してもらえませんかってと委員長はおっしゃった。それもあると思う。それは今後やっていくときに、試みてもいいと思うけど。時間もないし。私は2 団体で、小野田青年会議所と山陽商工会議所青年部に声をかけて、この2 団体としたらどうかなと思います。

森山喜久委員長 今、宮本委員のほうから小野田の J C と山陽の青年部はどうかというふうな御意見もありました。その前にも、藤岡委員のほうからは理科大という話もあって、3 団体が出てきたのかなと思いますが。

奥良秀委員 青年部は商工会議所の青年部だとは思いますが、山陽小野田市には青年部が二つありますので、もう一つの小野田の青年部にも声をかけていただければいいと思います。

宮本政志委員 その場合は3 団体にするってことですか。そこまで言わないけんよ。

奥良秀委員 3 団体というか、手挙げ方式で、やってもらえるところがあれば3 団体でもいいですし、今回難しいのであれば2 団体で。1 1 月くらいに、これをやろうとしてるんで、次の1 2 月定例会の後の議会報告会のときに、違うところと絡めて2 か所でやればと思う。手が挙げれば、3 か所やってもいいと思います。

宮本政志委員 奥委員は、1 2 月定例会のことを絡めるから話がおかしくなるんだけど。要は1 1 月7日の議会カフェの前後、近い前後に山陽商工会議所青年部と小野田商工会議所青年部と小野田青年会議所の三つに声をかけて、もし三つともいいよって言えば三つともやるし、二つなら二つってということで言われたんで。1 2 月定例会は関係ないよね。

森山喜久委員長　それで、もし時期をずれたら後ろのほうへずらしてもいいんじゃないかっていう意見だと。

宮本政志委員　時期がずれたらって意味が分かんない。それは、3団体もしくは2団体もしくは1団体が11月は無理だから、ほかの月にしてくださいって言ったら、12月定例会の議会報告会でそれをしたらいいと思いますよってことよね。それを言ったよね。そうすると、代わりに、セットに今回するのはほかの団体どうしますかっていう話になるよね。二つ分けないといけないね。

白井健一郎委員　多分、奥委員が言われたのは、小野田商工会議所青年部を初めから除外するのは、筋が通らないというか、その候補の一つに入れて、その三つの団体のうちで例えば二つを選ぶとか。要はその三つを俎上に乗せてくれっていうことだと思うんですけども。どうですか。

奥良秀委員　俎上に乗せてくれというか、山陽商工会議所青年部のほうで、今どういうふうな話をされてるか私もまだ分からない状況ですけど、そうであるならば、小野田商工会議所にも青年部があるので、話を渡してみても、もしそういうお話し、議会報告会のようなものができるのであれば、ぜひやっていただきたいなという思いで言ってます。

宮本政志委員　委員長、委員会をきちっとさばいていってよ。私が小野田青年会議所と山陽商工会議所青年部って言ったのは小野田商工会議所青年部と山陽商工会議所青年部でもいいんだけど、結局、不二輸送機ホールって山陽地区でしょ。Aスクエアは小野田地区でしょ。議会カフェのときにあんまり偏らないように小野田地区と山陽地区でっていうのが前提できたよね。だから私は、まず山陽商工会議所と言ったら青年部しかないわけよ。小野田商工会議所は確かに青年部と青年会議所があるよね。それで、山陽商工会議所青年部と意見聴取するという意味合いをとれば、今度は違う性質の青年会議所という考え方から小野田青年会議所がある

地区で一つ一つっていうことをまず前提で、それぞれとやる。で、奥委員のほうは、それだったらもう小野田商工会議所青年部にも声をかけたほうがっていうのもこれも一理あると思うよ。それはだから今から、決めていけばいい。今度は当然、ふるいにかけることなんて失礼なことはいできないから、三つに声掛けて三つでもいいですよっていうふうになったら、3団体と3か所で、つまり3回、意見を広く聞いていくということをしていくのか、どうかっていうところに入っていけばいいんじゃない。ただ手を挙げて聞いた。言った。次に。じゃなくて、ちゃんと一つ一つ、物事を手前から進めていく委員会運営しないとぐちゃぐちゃなるよ。

森山喜久委員長　それでは今、山陽商工会議所青年部、小野田青年会議所、小野田商工会議所青年部という形で意見が出ましたが、言われたように先ほど当初示したように、不二輸送機ホールとAスクエアという形で市民の方々に来てもらうことで、山陽地区、小野田地区で振り分けさせていただいたように、こちらも赴くところで、ある程度地域性も含めていきたいと考えてます。そこで言えば、山陽商工会議所青年部は、一か所で選定をしていきたいと思います。あと小野田商工会議所青年部と小野田青年会議所で、またそれぞれに声をかけるか別々にするかというのはどうでしょうか。

白井健一郎委員　話を広げるようで申し訳ないんですけど、私は理科大っていう線も当然候補として上がってくると思います。前回か前々回に理科大で議会カフェをやったらどうかっていうのも一つ流れましたし、それだけではなくて、やっぱり理科大生の数も多い。市政への関心というのも、決めつけちゃ悪いですけど、私の想像ではありますが、ふだん議会カフェに来られてる方よりは、余り関心がないのではないかと。ですから、もっと積極的にこちらから、もっと市政のことを考えてよって投げかけてみるっていうのはすごく必要なことだと思うんです。当然、理科大生が卒業した後に、この市に住んでくれるかどうかっていう判断にもなり

ますし、市への愛郷心とか、そういうものにもつながってくると思うんです。ですから、理科大の線もここで残しておいてほしいなと思っています。

宮本政志委員　これが11月7日前後でしょう。時間がないんだよね。藤岡委員と白井委員は、理科大って言われたけど、理科大の学生がこの頃どういう状況にあるか。あるいは教授、そういった職員の方がどういう状況にあるか。難しいと思う。時間がなかったら、難しいと思うから理科大っていうのはこの11月7日のカフェにくっつけるというのは無理とってます。「宮本委員、いやいやそうじゃないよ。無理じゃないよ。こうですよ。大学としたら行事はこうですよ。学生さんはこうですよ。学部はこの辺に絞ってこうです。空いてますよ」。あるいは「教授もこうですよ」という論拠をお持ちかな。理科大、理科大って言うけど、理科大に聞いたけど全然難しかったら無責任になる。それで、大丈夫。それと例えば、学校の先生たちと意見交換しよう。小学校の先生方とか、中学校の先生方と、教育について意見をいろいろ聞こうと、先生方のほうの都合はどうなんですかっていうこと。やはり時間をかけてその団体の意向とかスケジュールっていうのの把握しないといけない。それから打診したらどうにか早めに回答が得られるところっていうので線引きせんと、この11月7日っていうのは、難しくなってくるよ。その辺りは大丈夫。藤岡委員も白井委員も理科大で。難しいと思う。

奥良秀委員　スケジュールの話になってくると小野田商工会議所青年部っていうのは私はまだ当たっておりませんので、先ほど宮本委員が二つの団体を言われましたが、多分、そのように確認が取れているのかなというところがある中であれば、今回は小野田商工会議所青年部につきましては、打診はしてもいいとは思いますが、この11月7日に間に合うかどうかっていうのは難しいのかなというのがあるので、取り下げます。ただ、打診のほうはよろしくお願いします。もう一つ、先ほど青年会議所の話で、小野田は青年会議所っていうお話があったんですが、よく分からな

いんですけど、小野田青年会議所っていうのは山陽小野田市全体ではないんでしょうか。私は分からないので教えてほしいんですが。

宮本政志委員 少し理科大のことからまた話がずれたよね。で、別に奥委員は小野田商工会議所青年部のほうは取り下げなくていいと思う。別に私は小野田青年会議所も山陽商工会議所青年部にも打診してませんよ。こういうことやるから大丈夫か打診してない。当然理科大も打診しない。だけど、この11月7日っていうのはターゲットとして決まったわけですよ。議決したんだから。そうすると物理的にこの理科大は難しいと思うよっていう。時間、物理的にでもまだ青年会議所と青年部と、奥委員が言うように確かに、山陽商工会議所青年部と青年会議所と。声をかけるんなら、小野田商工会議所青年部にも声かけたほうが三つともいいかもしれんけど、どれが駄目で二つになるかもしれんよね。だから、私は声をかけるのは三つでもいいと思う。そこを決める。三つ決めるんなら、3回、3か所。青年部はもう一緒に一つにして青年会議所と二つにするのかというのはその次の議論よね、まず、理科大は難しいと思うよ。

白井健一郎委員 私がセットするわけではないので無責任なことは言えませんが、集めるって10人とかですよ。一教室をいっぱいにするぐらい集めるってわけではないですよ。要は理科大である場合に、声をかけるだけでそのぐらいは結構集まるのではないか、あるいは集まらなかった場合は、その職員の方とか教職員の方にお手伝いいただくとして、そのアプローチしたら、実現可能性はそんなに低くないとは思ってます。ただ、いかんせん私がセットするわけではないので無責任なことは言えませんし、そんなにこだわるわけでもないですよ。別に絶対に理科大ってわけじゃないです。

森山喜久委員長 ここで理科大でのやっぱり懸念は、例えば学祭とかテストとかを含めてどういう状況下で、時間のなかで打診をするよりも、今後、理科大と私たち議会で協議するんだったらどの時期がいいのかっていう

打診をしながら詰めていくってやり方があると思ってます。それを含めて、最大で4か所という話もあるんですけど、打診する数を何か所にするかというのを決めていきたいと思いますが、皆さんのほうで何かありますか。

中島好人委員　やはり僕らの意図を説明して、それで相手の意向とか、何がネックなのかとか。どうしたら可能性があるのかとかというように、1回では結論が出ないかも分らんし、団体だから今度の総会、役員会、そういうものに諮ってみましょうとか、大学の学園祭をやっているから、学園祭が終わった後でないといけないとかがあると思います。だから、いろいろこちらの意向というのは、やっぱり広く皆さんの意見を聞きたい。議会報告もやっていきたい。だから、何かそんな広く当たっていけばいいんじゃないかなと僕は単純に思ったりもしたんです。まず第1は向こうが可能なのかというのが感じたところなんです。だけど、この間青年会議所はモニターとしても入っている人もいれば、また、この間、議会カフェも参加しているんで、それなりに今度は僕らだけやから、人数も集まる可能性はあるような感じはしてます。

前田浩司副委員長　今回、新たな手法を考えている中で、当然相手の状況が見えない中で議論したところで、何も始まらないと思うので、一旦は本日のこの委員会の中では、新たな取組として、3か所ほど現時点あります。一旦、相手に話をして見て行って、スケジュールが合うようであれば今回の11月の報告会については、どこどこが決まっていくというような流れで、いずれにしろ、その先については、今後は、外に出向いていくという市民の声をしっかり聞くっていう方向づけは変わらない部分だと思うので、まず相手に当たってみて進めていくのが一番先決だと思います。

宮本政志委員　相手って誰を言っているのか、よう分からん。だから今出ているのは、青年会議所と小野田小赤穂会議所青年部と山陽商工会議所青年

部と理科大でしょって言っている。回数を先に言ったらいけんよ。4回やりましょうと言ったら4団体だよ。回数じゃない。まずはその団体で、4か所とも行きますか、どうしますかってことを絞ればいい。理科大は白井委員が言われて、5人か10人かって言われたけど、広く市民から意見を聴取する。広くって言うなら最初から5人、10人の小さい数字でいいのかって話なわけ。つまり、理科大全体に聞こうじゃないかって。それでも物理的にこうだね。絞っていきましようかであれば分かるけど、最初から小さい数字を言ったら、広く市民から意見を聴取するっていうことにはなりかねない。だからそういったものとか、理科大のスケジュールとか、いろいろあるんであれば、それも考慮した上で今回はどうするのか。別にもう理科大そのものを否定しているのではない。そこを決めていかないと。それから次の話でしょ。

森山喜久委員長 では、今4か所が示された中で、その4か所のほうをどのようにしていくか。どこに打診をしていくのかというところで、意見のほうを受けたいと思います。先ほど述べました理科大で言えば、学園祭とか試験のタイミングとかが私らには把握できないので、喫緊の11月7日前後という話に関して言えば、このたびは理科大のほうは外して、今後改めて日程調整をしていく形でいいのかなと考えておりますが、どうでしょうか。

白井健一郎委員 理科大に関しては全く向こうのカリキュラム、スケジュール的なものが手元にないわけですよ。取りあえず当たってみてもらえませんか。挑戦して理科大の学生課かあるいは教務課に電話して、11月7日前後に議会カフェみたいなものやってみたいんだけど、教室を借りるなどの準備が可能なのかどうかっていうことのすり合わせをやってみてほしい。挑戦はしてみたいと思うんですけど、負担ですか。それは無理を言いません。

森山喜久委員長 先ほど宮本委員からもあったように、理科大全体に求めるの

か、学部に求めるのか、そういったところの状況もない中で、取りあえず意見交換会をしていきたいという投げかけをするってということなんですか。そういう形であれば、もう少し時間をかけてやるべきで、理科大は今回取りあえず置いといて、3か所でやったほうがいいんじゃないかという意見だったわけなんですよ。その辺でどうお考えかというところですよ。

白井健一郎委員 私はここでの多数決に従います。

宮本政志委員 理科大も取りあえず駄目なんよ。議会としたらどういう目的で理科大に対してこういうことをやるか。それに対しては、対象はこういうふうな形で場所もこのあたり、ここを使わせていただけませんかというふうな新たな前提があって打診しないとイケないよね。ただ議会カフェしたいです、いつぐらい、理科大どうでしょうかでは議会としては恥ずかしい聞き方なんで、その辺りを詰めていくにはもう時間が要る。余り物理的に時間がないから、今回の理科大は外して、先ほどから言うように小野田青年会議所で山陽商工会議所青年部。例えば、どっちかが駄目だから小野田商工会議所青年部に聞こうかって言ったら、それは、先ほど奥委員が言うように失礼だと思う。だから、それだったら3団体にお聞きして、3団体がいいって言えば3回やろうかとするのか。あるいはもし一つだった場合、二つが無理って言われて、一つだった場合は、そのときにまた一つでいいか、もう一つ急遽どうするかっていうのを考えるとか。一つ一つと決めていかないと。私は今三つに声かけたらどうですかって言っている。

森山喜久委員長 宮本委員から三つの団体に声をかけたらどうかというお話がありました、いかがでしょうか。

中島好人委員 初めての取組ということなんで、ある程度接触っていうか、その辺では3団体で。またあえて広げるとまとまりがつかなくなっていく

可能性あるんで、僕はそれで可能性のあるところで、進めていったほうがいいかなと感じます。

森山喜久委員長 このたびは、3団体という形にさせていただきたいんですが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

藤岡修美委員 確認なんですけど、これは、今11月7日の文化会館とAスクエアについて、午前、午後でやるんですが。これとは別に日にちを設けて、3団体に声をかけてやるっていうことで理解していいですか。

森山喜久委員長 11月7日を起点にして、その前後のところで、このたびはその関係のところで当たっていきたいというところで再度確認なんですけど、このたびは11月7日を起点とした前後で、3団体にお声かけをかけていきたいということでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは3団体に声をかけていくことにします。先ほど出たように、3団体であれば最大で3回に分かれる可能性もある。もしくは、それが二つになるかもしれませんし、一つになるかもしれませんが、その辺のところはいかがいたしましょうか。このたびは、相手の状況も含めて、開催していくということで若干流動的になりますが、よろしいですか。

奥良秀委員 初めてお願いをする形で、担当の方の都合とかもあると思いますので、その辺は手を挙げて、やりましょうっていう話があれば、3か所やればいいし、駄目なら2か所になる。そんな感じで決めてもいいんじゃないでしょうか。最初に、議会報告をさせてもらって、あと何を議論するか、何の意見交換会をするかっていうのを決めておかないとまずいのかなと思います。

宮本政志委員 それは、さっき委員長が言ったよね。議会カフェと同じ方法でよろしいですかって皆さん異議なしでよろしいですよ。だから、議会報告会と同じなら、さっき言ったよね、ユーチューブを見るという手法か

は別にしても、9月定例会の議会報告をして、その他は議会カフェのときはフリーよね。その形式でよろしいですか。だから、今の奥委員の質疑っていうのは少し的外れるよね。それと委員長、この3団体にいつ頃までに聞くかってこと大事よ。これ近々に確認して、向こうも確かにスケジュールとかいろいろあるでしょうから、11月7日前後でどうかっていうこともある。それからこの議会で議員が出席しないといけない公務があったらいけないので、その辺りは近々に事務局とすり合わせして早めに3団体に依頼する。この依頼っていうのは本来なら文書を出すんですか。（「文書で出すようになる」と呼ぶ者あり）なるほど。ある程度、電話でこうこうって失礼だなと思う。だから、その辺りっていうのを、委員長のほうでしっかり事務局とすり合わせしてもらって、もし文書が要るんであれば、その文書をまた、一々その議決しよったら時間がどんどん過ぎるんで、その辺りは委員長に一任してもいいかなと思っています。大体いつぐらいまでかっていうある程度の目途は持つとかないといけんと思うよ。

白井健一郎委員　3団体ということで分かりました。人数は先ほど聞いてたら、大体10人以上っていう数字は出てきてるんですけど、仮に10人としたら議員の数のほうが多い気がするんですよ。ふだんの議会カフェならもう少し集まっていると思うんですけども、その辺、例えば、20人、30人を集めてほしいって言ったら、向こうにノルマを課すことにもなりかねませんよね。だから、その可能な範囲で1団体10人だったら、二つあるいは三つの団体を同一場所でやるのも考えられるんじゃないかとは思いますが、どうでしょうか。

宮本政志委員　10人は、白井委員が先ほど理科大の例で10人という言葉が出たので、私が言ったんですが、これ別に団体で人数を絞る必要ないでしょ。団体と意見交換したいので。もし相手の団体が全員参加させたいって言ったらそれを断る必要はないんで、基本的には向こうにお任せしたらいいんじゃないですか。議員は、議長除いて20人おるわけですか

ら、それをどういうふうな対応をしていくかっていうのはまだその参加人数が決まってから。少々、小野田青年会議所とか、青年部の人たちは、議会モニターに出ておられる方を見ても分かるけど、あれだけの的確な意見を言われる方たちだし、議会報告会でも堂々といろんな建設的な意見を言われる団体なんで、議員の人数が少し多いからって言うて、ひるむような彼ら、彼女たちじゃないんで、1人に対して議員が15人というのは極端やけども、あんまりその辺っていうのは考慮せんでもいいと思うよ。

森山喜久委員長 取りあえず、こちらのほうは依頼をしないと、受けていただけるかどうかというのが分からないんで。とにかく、明後日は本議会最終日になりますから、早い段階で、こちらのほうも打診をさせてもらおうと。本当、この9月いっぱいには打診した状況の中で文書を出せるような状況をつくっておかないと向こうに対しての失礼なのかなと思ってますので、その辺含めた関係は委員長に一任していただけたらと思います。その辺どうでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）議会カフェの皆さんに来てもらう形での2回の開催と私たちのほうから出向くっていう形での開催で、明後日のところでまた全議員に一応周知して、基本全議員が出てもらうけれど、ただ先ほどあったように向こうに赴くところ、山陽商工会議所青年部とか青年会議所のところについて人数のほうは、余りにも差があり過ぎるような状況であれば考えなきゃいけないところもあるかもしれないと。その分での基本という意味でした。ですので一応全員参加という形で、議会カフェとこちらから赴く議会カフェを開催していく。案内していくということをさせてもらいたいと思います。あと、こちらのほうの漏れはほか皆さんのほうで確認したいことはありますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、付議事項3については以上とさせてもらって、付議事項4その他は何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして広聴特別委員会を散会いたします。

午後 3 時 2 8 分 散会

令和 6 年（2024 年）9 月 2 5 日

広聴特別委員長 森 山 喜 久